

安全保った行動を

日さく

日さく（さいたま市、若林直樹社長）は、さいたま市の大宮ソニ



ックシティで、2026年度全社安全大会を開いたⅡ写真。社員81人、協力会社33人の計99人が参加し、労働災害の撲滅を誓った。

若林社長は「建設業は命の危険が常に隣り合わせなため、インフラ整備など人々の生活を支える建設業従事者の安全を高めることが重要だ」と強調した上で、「労働災害を防止するには、危険を感じたら作業をやめる、違和感や疑問を共有する、『まさか』ではなく『もしかしたら』の意識を持つことが重要であり、結果ではなく、安全を保った行動に価値がある」とあいさつした。

安全衛生協会の石井宣明代表（石井さく井工業）があいさつした後、安全衛生表彰、第57次南極地域観測隊の調理隊員だった渡貫淳子さんによる安全衛生講話、安全の誓いなどが行われた。

（7・7）

